



主 題 名

共に生きていくために

教 材 名

バリアフリーってどんなこと? <2時間扱い>

人権学習の視点

個別的な視点「障害のある人の人権問題」

主題・教材について

障害にはいくつかの側面があり、WHO（世界保健機関）の国際障害分類では、「機能障害」「活動（活動の制約）」「参加（参加の制約）」の3つの側面から捉えることになっている。また、それぞれにおける「不自由な状態」も固定的なものではなく、健康状態や環境的な要因などによって変化するとされている。

最近では学校、駅、公共の施設等多くの建物にスロープや自動ドア、手すり等が設置され、バリアフリーが進んできた。

この教材では車椅子体験を通して必要な援助について考え、身体の不自由な人に積極的にかかわろうとする心情を育てたい。それから心のバリアフリーについて考える中で、障害のある人とない人が共に生きていく社会を実現していくことの大切さにも気付かせていきたい。

また、京都府立向日が丘養護学校の紹介を通して、学校や活動の様子を知り、障害について正しく理解し、互いに協力して生きていこうとする心情を養いたい。


ね ら い



障害のある人とない人が共に生きていく社会をつくっていくには何が大切か理解し、また、障害のある人に積極的にかかわろうとする心情を養う。

本時の展開

【学校の呼び名について】

●総称した場合は「特別支援学校」、各学校の名称については、盲・聾・〇〇養護学校という。

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導 入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○学習の流れを知らせることにより、本時の見通しを持たせる。	
展 開	学校へ行こう!				
	○特別支援学校（向日が丘養護学校）の施設・設備・登校の様子・授業について知らせる。 ○肢体不自由の原因を知らせる。	一斉	○特別支援学校（向日が丘養護学校）について知り、障害のある子どもがどんな学校で勉強をしているかを知る。 ○手足が不自由になる原因を知る。 	○特別支援学校（向日が丘養護学校）は障害のある子どもが学習できるような環境を備えており、障害があっても適切な配慮があれば学校で教育が受けられることを知らせる。 ○生まれつきの場合もあるが、交通事故や運動中の事故が原因で肢体不自由になることもあることを知らせ、身近なこととして捉えられるようにする。	資料 「バリアフリーってどんなこと?」 DVD または P.30～31
開	養護学校でも使われている車いすについて詳しく知ろう				
	○車椅子の種類や動かし方について知らせる。 ○車椅子体験① 車椅子に乗って、押しってもらう体験や車椅子を押す体験をさせる。	一斉 個別	○車椅子の種類や動かし方について知る。 ○車椅子に乗って押しってもらう体験や押す体験をする。	○利用する人の状況によっていろいろな車椅子があることを知らせる。 ○廊下等に出て、いろいろなスピードで押ししたり、押しってもらうたりする体験をさせる。ベルトは必ずつける。	DVD または P.32～33

展	○車椅子体験② 自操タイプの車椅子に乗って自分でこぐ体験をさせる。	個別	○自操タイプの車椅子に乗り、自分でこぐ体験をする。 	○まっすぐのコースだけでなく、右・左に曲がる体験もさせる。また、進路に板などを置いて、段差があると進めないことを体験させる。ベルトは忘れずつける。	自操タイプの車椅子 厚みのある板
	○車椅子体験の感想を発表させる。	一斉	○車椅子に乗って押ししてもらったり、車椅子を押ししたり、自分でこいだりして気付いたことや思ったことを発表する。	○押しもらった時にはどんな気持ちかを発表させ、車椅子を押すときにはどんな配慮が必要かを考えさせる。また、小さな段差でも車いすにとっては大きな障壁（バリア）となることに気付かせる。	
	○正しい車椅子の押し方について知らせる。		○正しい車椅子の押し方を知る。	○安心して車椅子を押しもらうためには押す人との信頼関係が大切であることに気付かせる。	
バリアフリーってどんなこと？ 町で見つけたバリアフリー					
開	○車椅子の人でも自由に行ける設備を発表させる。	一斉	○車椅子の人でも自由に行けるようになっているところを思い起こし、発表する。	○建物に設置されたスロープや、自動ドア、段差のない通路や自動販売機などについて気付かせる。	DVD または P.34
	○バリアフリーについて考えさせ、発表させる。		○車椅子の人が自由に行けるようにするにはどうすればよいか考え、発表する。	○段差をなくすことのほかに、他の人の手を借りることによって自由に行けることもあることに気付かせる。	
	○障害のある人への支援として、自分にできることはどんなことが発表させる。		○自分にできることを話し合い、発表する。	○障害のある人もない人も、共に生きる視点を大切にし、障害のある人に積極的にかかわろうとする姿勢を評価する。	
心にもバリアフリーってあるのかな？					
まとめ	○P.35の写真を見て、思ったことを発表させる。	一斉	○P.35の写真を見て思ったことを発表する。	○障害があっても、社会に参加し生き生きと活動されている様子を感じ取らせる。	P.35
	○共に生きていくために、心のバリアも取り除いていくことが大切であることを理解させる。		○心のバリアフリーの大切さについて考える。	○施設や設備だけでなく、心のバリアについて自分を振り返られるようにする。 	
まとめ	○障害のある人と共に生きていくために大切なことを理解させる。	一斉	○本時の学習の感想を交流する。	○「障害のある人と共に生きていく」ために大切なことを、自分とのかかわりの中で考えられるようにする。	

評価

障害のある人とない人が共に生きていく社会を作っていくには何が大切かが理解できたか。また、障害のある人に積極的にかかわろうとする心情を養うことができたか。